



五ノマツ

金の泥か

新詩經

前田 林外 譯

國風 月南一〇一

月明と 雌鳩が 雌鳩つれふしに 鳴きて ありけり 河の 浮き 洲の  
空の 窓の 下よ 憂を とめは 徳た かき 憂を とこの 好き 配偶を ば ぬれ  
長み 短み 参差 在 左に 右りに 流れつ 靡は 採まり ぬ  
空の 窓の 下よ 憂を とめは 徳た かき 憂を とこの 好き 配偶を ば ぬれ

長み短み 参差在 左に右りに 流れつ 靡は 採まり ぬ  
空の窓の 下よ 憂を とめは 徳た かき 憂を とこの 好き 配偶を ば ぬれ

空の窓の 下よ 憂を とめは 徳た かき 憂を とこの 好き 配偶を ば ぬれ  
空の窓の 下よ 憂を とめは 徳た かき 憂を とこの 好き 配偶を ば ぬれ

本間文庫  
文庫14  
A190  
1



長又短み  
の音に  
流北の  
海山けさき

長又短み  
の音に  
流北の  
海山けさき  
長又短み  
の音に  
流北の  
海山けさき

草の延ふや谷ぬ内に伸が廣がり、  
世思自うこい飛がて

甘田の止  
世思自うこい飛がて

草の延ふや谷ぬ内に伸が廣がり、  
世思自うこい飛がて

こに  
耳か  
いづれ

巻

ははこ草を摘み  
道つ上  
我は新  
彼の高き  
んで



おんのかい見神ある雨とここ流りて。越に相に四ツの道い合ひて、位方の一ツの道

い道添ふたけだてしし。健うに力強き毎天はよ、うす白拍の楳と城が。

●おんのかい見神ある雨とここ流りて。林のまんま守いし、たけだてしと健

健ぬに力強き毎天はよ、うす白拍の楳と城が。

茶 茶 267 濃茶と云

おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて

おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて

おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて

おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて

おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて

おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて

おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて

おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて

おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて

おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて

おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて

おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて

おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて

おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて

おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて、おぼこ茶 採りて

これは女三子  
の心持を  
述べたる  
事なり  
と云ふに  
可なり  
と云ふ

舟の  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

彼の  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

つ、  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

鱈の  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

光作  
起點

父三治  
地に  
...  
...  
...

鱈の趾はや、振々たり、仁厚の公子、鱈はや。

鱈の趾はや、振々たり、仁厚の公子、鱈はや。

鱈の趾はや、振々たり、仁厚の公子、鱈はや。

國風 吾南の二

鱈の趾  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

鱈の趾  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

雑れ籠のまゝに草のあつた、雑れ籠のまゝに草のあつた、雑れ籠のまゝに草のあつた、

2 米 草

ここの水が白濁して、白濁した水は、白濁した水は、白濁した水は、

ここの水が白濁して、白濁した水は、白濁した水は、白濁した水は、



ここの水が白濁して、白濁した水は、白濁した水は、白濁した水は、

前夜の夢、前夜の夢、前夜の夢、

ここの水が白濁して、白濁した水は、白濁した水は、白濁した水は、

ここの水が白濁して、白濁した水は、白濁した水は、白濁した水は、

3 草 虫

睡眠の間に、睡眠の間に、睡眠の間に、睡眠の間に、

心を安んずる、心を安んずる、心を安んずる、心を安んずる、

彼の南山の堂りて、ここの微を採る、未だ夫を見ず、未だ夫を見ず、

彼の南山の堂りて、ここの微を採る、未だ夫を見ず、未だ夫を見ず、

彼の南山の堂りて、ここの微を採る、未だ夫を見ず、未だ夫を見ず、

彼の南山の堂りて、ここの微を採る、未だ夫を見ず、未だ夫を見ず、

4 米 草

彼の南山の堂りて、ここの微を採る、未だ夫を見ず、未だ夫を見ず、

彼の南山の堂りて、ここの微を採る、未だ夫を見ず、未だ夫を見ず、

彼の南山の堂りて、ここの微を採る、未だ夫を見ず、未だ夫を見ず、

彼の南山の堂りて、ここの微を採る、未だ夫を見ず、未だ夫を見ず、

彼の南山の堂りて、ここの微を採る、未だ夫を見ず、未だ夫を見ず、

こゝに... 乃ち... 燗下... 初め... 之... 可... 辨

甘棠

枝葉繁... 甘棠... 乃... 燗下... 初め... 之... 可... 辨

枝葉繁... 甘棠... 乃... 燗下... 初め... 之... 可... 辨

枝葉繁... 甘棠... 乃... 燗下... 初め... 之... 可... 辨

行... 風疾

濡... 行... 乃... 燗下... 初め... 之... 可... 辨

誰れ... 乃... 燗下... 初め... 之... 可... 辨

誰れ... 乃... 燗下... 初め... 之... 可... 辨

誰れ... 乃... 燗下... 初め... 之... 可... 辨

羔羊

羔羊... 乃... 燗下... 初め... 之... 可... 辨

羔羊... 乃... 燗下... 初め... 之... 可... 辨





たすき

後之れ梅... 江に梅あり... 幸二...

江に梅あり... 幸二... 幸二...

野有死麋

野有死麋... 野有死麋... 野有死麋...

林の雑木... 林の雑木... 林の雑木...

野有死麋... 野有死麋... 野有死麋...

何彼標矣

何彼標矣... 何彼標矣... 何彼標矣...

何彼標矣... 何彼標矣... 何彼標矣...

たすき

何彼標矣... 何彼標矣... 何彼標矣...

鴝嗚

鴝嗚... 鴝嗚... 鴝嗚...

鴝嗚... 鴝嗚... 鴝嗚...

柏舟

柏舟... 柏舟... 柏舟...











2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35  
36  
37  
38  
39  
40  
41  
42  
43  
44  
45  
46  
47  
48  
49  
50  
51  
52  
53  
54  
55  
56  
57  
58  
59  
60  
61  
62  
63  
64  
65  
66  
67  
68  
69  
70  
71  
72  
73  
74  
75  
76  
77  
78  
79  
80  
81  
82  
83  
84  
85  
86  
87  
88  
89  
90  
91  
92  
93  
94  
95  
96  
97  
98  
99  
100

北門

二二  
一三

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35  
36  
37  
38  
39  
40  
41  
42  
43  
44  
45  
46  
47  
48  
49  
50  
51  
52  
53  
54  
55  
56  
57  
58  
59  
60  
61  
62  
63  
64  
65  
66  
67  
68  
69  
70  
71  
72  
73  
74  
75  
76  
77  
78  
79  
80  
81  
82  
83  
84  
85  
86  
87  
88  
89  
90  
91  
92  
93  
94  
95  
96  
97  
98  
99  
100

北門

に下を引んや、病れは既に下は迫り。

静女

静女其暉也。一我を人目より奪ひ、静女城陽に居る。愛慕

静女其暉也。一我を人目より奪ひ、静女城陽に居る。愛慕

美人の贈り物なり。故に、其の物に寄つて其の美なり。

新臺

新しき臺、鮮明け、水の流る。其の流るを、燕城をみる。

新しき臺、鮮明け、水の流る。其の流るを、燕城をみる。

うつふと、まけは、のぼり、絶えざる。

二子を舟

公子の仮と考よ、舟に乗る。二子の舟、水に流る。

廟

廟、舟に乘る。舟、水に流る。舟、水に流る。

人の心、舟に乘る。舟、水に流る。舟、水に流る。

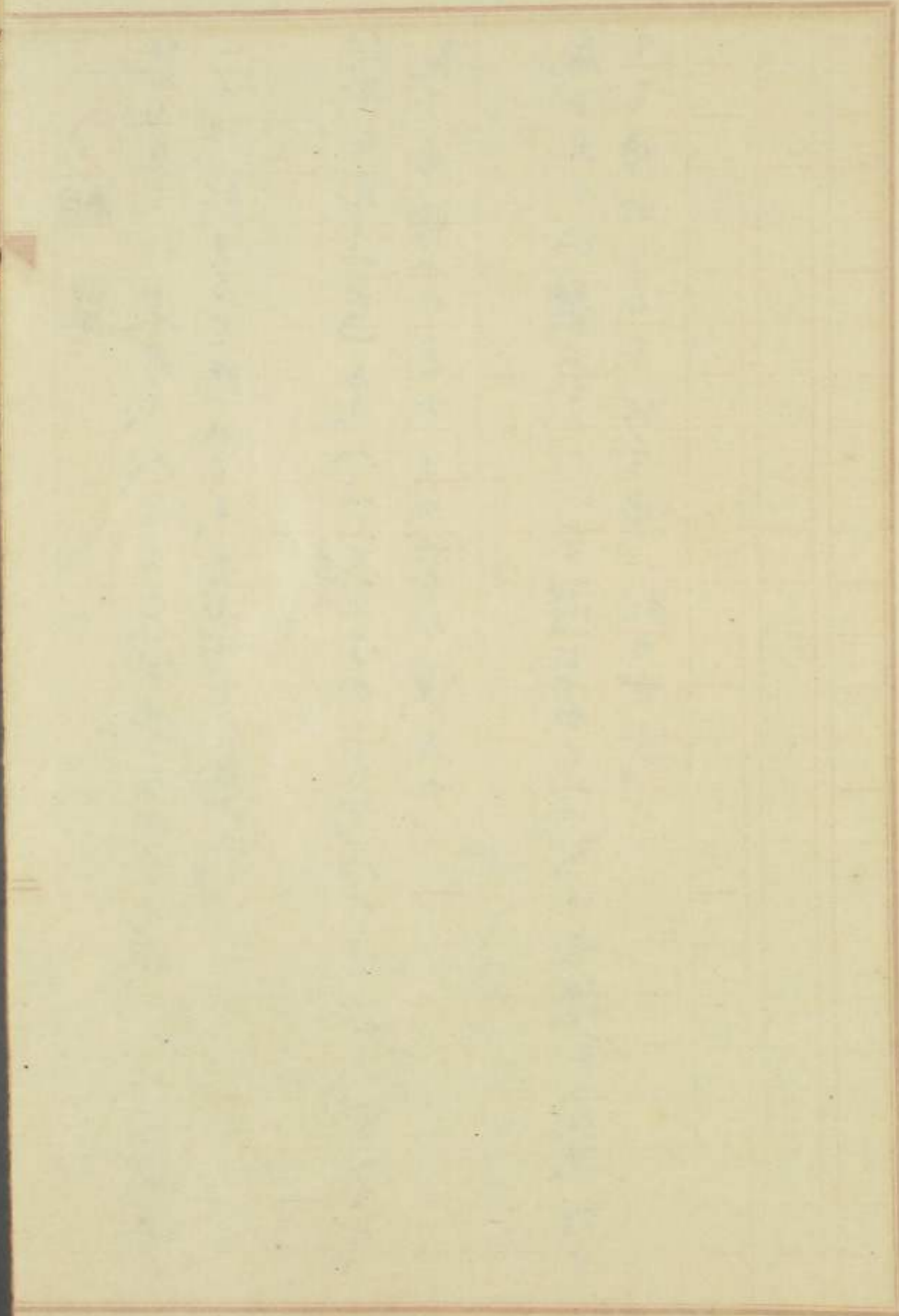


3  
 2  
 1  
 2  
 3  
 4  
 5  
 6  
 7  
 8  
 9  
 10  
 11  
 12  
 13  
 14  
 15  
 16  
 17  
 18  
 19  
 20  
 21  
 22  
 23  
 24  
 25  
 26  
 27  
 28  
 29  
 30  
 31  
 32  
 33  
 34  
 35  
 36  
 37  
 38  
 39  
 40  
 41  
 42  
 43  
 44  
 45  
 46  
 47  
 48  
 49  
 50  
 51  
 52  
 53  
 54  
 55  
 56  
 57  
 58  
 59  
 60  
 61  
 62  
 63  
 64  
 65  
 66  
 67  
 68  
 69  
 70  
 71  
 72  
 73  
 74  
 75  
 76  
 77  
 78  
 79  
 80  
 81  
 82  
 83  
 84  
 85  
 86  
 87  
 88  
 89  
 90  
 91  
 92  
 93  
 94  
 95  
 96  
 97  
 98  
 99  
 100

1  
 2  
 3  
 4  
 5  
 6  
 7  
 8  
 9  
 10  
 11  
 12  
 13  
 14  
 15  
 16  
 17  
 18  
 19  
 20  
 21  
 22  
 23  
 24  
 25  
 26  
 27  
 28  
 29  
 30  
 31  
 32  
 33  
 34  
 35  
 36  
 37  
 38  
 39  
 40  
 41  
 42  
 43  
 44  
 45  
 46  
 47  
 48  
 49  
 50  
 51  
 52  
 53  
 54  
 55  
 56  
 57  
 58  
 59  
 60  
 61  
 62  
 63  
 64  
 65  
 66  
 67  
 68  
 69  
 70  
 71  
 72  
 73  
 74  
 75  
 76  
 77  
 78  
 79  
 80  
 81  
 82  
 83  
 84  
 85  
 86  
 87  
 88  
 89  
 90  
 91  
 92  
 93  
 94  
 95  
 96  
 97  
 98  
 99  
 100

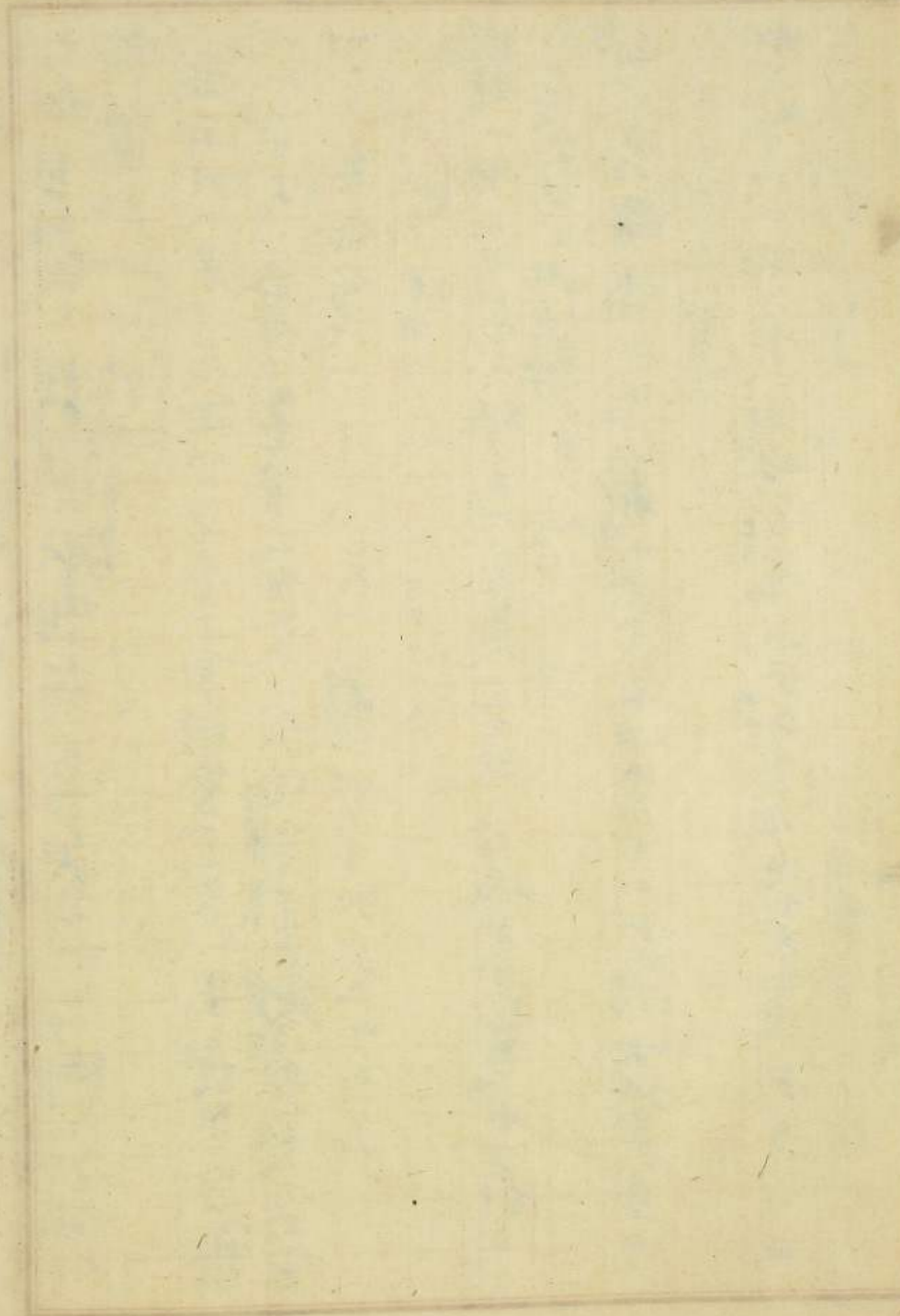


5



SKIN OF THE

1/4



相

白紙

白紙を見るに皮あり、人にして威儀なからんや。人にして威儀な  
らんば、死するを勝れとす、夫れ何ぞか為らん。

白紙を見るに止まりあり、人にして止まらざらんや。人にして止まらんば、  
死するを勝れとす、夫れ何ぞか候らん。

白紙を見るに體あり、人にして禮重からんや。人にして禮重らんば、死す  
るを勝れとす、何れを連に死せざらん。

1  
 2  
 3  
 4  
 5  
 6  
 7  
 8  
 9  
 10  
 11  
 12  
 13  
 14  
 15  
 16  
 17  
 18  
 19  
 20  
 21  
 22  
 23  
 24  
 25  
 26  
 27  
 28  
 29  
 30  
 31  
 32  
 33  
 34  
 35  
 36  
 37  
 38  
 39  
 40  
 41  
 42  
 43  
 44  
 45  
 46  
 47  
 48  
 49  
 50  
 51  
 52  
 53  
 54  
 55  
 56  
 57  
 58  
 59  
 60  
 61  
 62  
 63  
 64  
 65  
 66  
 67  
 68  
 69  
 70  
 71  
 72  
 73  
 74  
 75  
 76  
 77  
 78  
 79  
 80  
 81  
 82  
 83  
 84  
 85  
 86  
 87  
 88  
 89  
 90  
 91  
 92  
 93  
 94  
 95  
 96  
 97  
 98  
 99  
 100

1  
 2  
 3  
 4  
 5  
 6  
 7  
 8  
 9  
 10  
 11  
 12  
 13  
 14  
 15  
 16  
 17  
 18  
 19  
 20  
 21  
 22  
 23  
 24  
 25  
 26  
 27  
 28  
 29  
 30  
 31  
 32  
 33  
 34  
 35  
 36  
 37  
 38  
 39  
 40  
 41  
 42  
 43  
 44  
 45  
 46  
 47  
 48  
 49  
 50  
 51  
 52  
 53  
 54  
 55  
 56  
 57  
 58  
 59  
 60  
 61  
 62  
 63  
 64  
 65  
 66  
 67  
 68  
 69  
 70  
 71  
 72  
 73  
 74  
 75  
 76  
 77  
 78  
 79  
 80  
 81  
 82  
 83  
 84  
 85  
 86  
 87  
 88  
 89  
 90  
 91  
 92  
 93  
 94  
 95  
 96  
 97  
 98  
 99  
 100

①

樹一之五

淇水

彼が淇水の溪を登りて、  
 彼らにたると、  
 あらゆるたると、  
 何れも、  
 天し、  
 彼が淇水の溪を登りて、  
 彼らにたると、  
 あらゆるたると、  
 何れも、  
 天し、  
 彼が淇水の溪を登りて、  
 彼らにたると、  
 あらゆるたると、  
 何れも、  
 天し、

3 2 1

考 般木

水が流るる山間の谷に、  
 由れり、  
 地の高く、  
 樹の、  
 碩人、

碩人

碩人



鴻水遊々として、梅の梢ゆり舟。かろとまゐりて、おのれが夢をみる。
   
 甘藷の枝ある、童子を解ふ。明く解ふと、解ふと解ふと。
   
 容をりて、世を棄れて、梅をみる。
   
 誰が河を流すか、とわらふ。一本の草の根、かきこみ、舟でゆかぬ。
   
 誰が舟を流すか、とわらふ。舟を流すか、舟を流すか。
   
 誰が舟を流すか、とわらふ。舟を流すか、舟を流すか。
   
 誰が舟を流すか、とわらふ。舟を流すか、舟を流すか。

伯兮

三歳時、舟を、家庭の荒れ、舟をかりて、風は起す。夜に寝て、一朝のいそ
   
 中、舟をかり、舟を流す。舟を流す、舟を流す、舟を流す。
   
 舟を流す、舟を流す、舟を流す、舟を流す。
   
 舟を流す、舟を流す、舟を流す、舟を流す。
   
 舟を流す、舟を流す、舟を流す、舟を流す。
   
 舟を流す、舟を流す、舟を流す、舟を流す。
   
 舟を流す、舟を流す、舟を流す、舟を流す。
   
 舟を流す、舟を流す、舟を流す、舟を流す。
   
 舟を流す、舟を流す、舟を流す、舟を流す。

竹竿

7





1  
 2  
 3  
 4  
 5  
 6  
 7  
 8  
 9  
 10  
 11  
 12  
 13  
 14  
 15  
 16  
 17  
 18  
 19  
 20  
 21  
 22  
 23  
 24  
 25  
 26  
 27  
 28  
 29  
 30  
 31  
 32  
 33  
 34  
 35  
 36  
 37  
 38  
 39  
 40  
 41  
 42  
 43  
 44  
 45  
 46  
 47  
 48  
 49  
 50  
 51  
 52  
 53  
 54  
 55  
 56  
 57  
 58  
 59  
 60  
 61  
 62  
 63  
 64  
 65  
 66  
 67  
 68  
 69  
 70  
 71  
 72  
 73  
 74  
 75  
 76  
 77  
 78  
 79  
 80  
 81  
 82  
 83  
 84  
 85  
 86  
 87  
 88  
 89  
 90  
 91  
 92  
 93  
 94  
 95  
 96  
 97  
 98  
 99  
 100

(海軍の事)  
 貴子

1  
 2  
 3  
 4  
 5  
 6  
 7  
 8  
 9  
 10  
 11  
 12  
 13  
 14  
 15  
 16  
 17  
 18  
 19  
 20  
 21  
 22  
 23  
 24  
 25  
 26  
 27  
 28  
 29  
 30  
 31  
 32  
 33  
 34  
 35  
 36  
 37  
 38  
 39  
 40  
 41  
 42  
 43  
 44  
 45  
 46  
 47  
 48  
 49  
 50  
 51  
 52  
 53  
 54  
 55  
 56  
 57  
 58  
 59  
 60  
 61  
 62  
 63  
 64  
 65  
 66  
 67  
 68  
 69  
 70  
 71  
 72  
 73  
 74  
 75  
 76  
 77  
 78  
 79  
 80  
 81  
 82  
 83  
 84  
 85  
 86  
 87  
 88  
 89  
 90  
 91  
 92  
 93  
 94  
 95  
 96  
 97  
 98  
 99  
 100

1  
 2  
 3  
 4  
 5  
 6  
 7  
 8  
 9  
 10  
 11  
 12  
 13  
 14  
 15  
 16  
 17  
 18  
 19  
 20  
 21  
 22  
 23  
 24  
 25  
 26  
 27  
 28  
 29  
 30  
 31  
 32  
 33  
 34  
 35  
 36  
 37  
 38  
 39  
 40  
 41  
 42  
 43  
 44  
 45  
 46  
 47  
 48  
 49  
 50  
 51  
 52  
 53  
 54  
 55  
 56  
 57  
 58  
 59  
 60  
 61  
 62  
 63  
 64  
 65  
 66  
 67  
 68  
 69  
 70  
 71  
 72  
 73  
 74  
 75  
 76  
 77  
 78  
 79  
 80  
 81  
 82  
 83  
 84  
 85  
 86  
 87  
 88  
 89  
 90  
 91  
 92  
 93  
 94  
 95  
 96  
 97  
 98  
 99  
 100

1  
 2  
 3  
 4  
 5  
 6  
 7  
 8  
 9  
 10  
 11  
 12  
 13  
 14  
 15  
 16  
 17  
 18  
 19  
 20  
 21  
 22  
 23  
 24  
 25  
 26  
 27  
 28  
 29  
 30  
 31  
 32  
 33  
 34  
 35  
 36  
 37  
 38  
 39  
 40  
 41  
 42  
 43  
 44  
 45  
 46  
 47  
 48  
 49  
 50  
 51  
 52  
 53  
 54  
 55  
 56  
 57  
 58  
 59  
 60  
 61  
 62  
 63  
 64  
 65  
 66  
 67  
 68  
 69  
 70  
 71  
 72  
 73  
 74  
 75  
 76  
 77  
 78  
 79  
 80  
 81  
 82  
 83  
 84  
 85  
 86  
 87  
 88  
 89  
 90  
 91  
 92  
 93  
 94  
 95  
 96  
 97  
 98  
 99  
 100





1  
 2  
 3  
 4  
 5  
 6  
 7  
 8  
 9  
 10  
 11  
 12  
 13  
 14  
 15  
 16  
 17  
 18  
 19  
 20  
 21  
 22  
 23  
 24  
 25  
 26  
 27  
 28  
 29  
 30  
 31  
 32  
 33  
 34  
 35  
 36  
 37  
 38  
 39  
 40  
 41  
 42  
 43  
 44  
 45  
 46  
 47  
 48  
 49  
 50  
 51  
 52  
 53  
 54  
 55  
 56  
 57  
 58  
 59  
 60  
 61  
 62  
 63  
 64  
 65  
 66  
 67  
 68  
 69  
 70  
 71  
 72  
 73  
 74  
 75  
 76  
 77  
 78  
 79  
 80  
 81  
 82  
 83  
 84  
 85  
 86  
 87  
 88  
 89  
 90  
 91  
 92  
 93  
 94  
 95  
 96  
 97  
 98  
 99  
 100

1  
 2  
 3  
 4  
 5  
 6  
 7  
 8  
 9  
 10  
 11  
 12  
 13  
 14  
 15  
 16  
 17  
 18  
 19  
 20  
 21  
 22  
 23  
 24  
 25  
 26  
 27  
 28  
 29  
 30  
 31  
 32  
 33  
 34  
 35  
 36  
 37  
 38  
 39  
 40  
 41  
 42  
 43  
 44  
 45  
 46  
 47  
 48  
 49  
 50  
 51  
 52  
 53  
 54  
 55  
 56  
 57  
 58  
 59  
 60  
 61  
 62  
 63  
 64  
 65  
 66  
 67  
 68  
 69  
 70  
 71  
 72  
 73  
 74  
 75  
 76  
 77  
 78  
 79  
 80  
 81  
 82  
 83  
 84  
 85  
 86  
 87  
 88  
 89  
 90  
 91  
 92  
 93  
 94  
 95  
 96  
 97  
 98  
 99  
 100

右に抜くは、中野の大杉、扇修のつらふ。

羔裘

無名 従者 日北

彼れ共の大夫 御を天

羊の皮衣、二層へ、河に流す。病を治す。彼れ共の大夫、御を天

羊の皮衣、約り、飾り、其の功あり。彼れ共の大夫、御を天

羊の皮衣、其の功あり。彼れ共の大夫、御を天

羊の皮衣、其の功あり。彼れ共の大夫、御を天

大道ハ邊ハ、和す、其の功あり。彼れ共の大夫、御を天

大道ハ邊ハ、和す、其の功あり。彼れ共の大夫、御を天

大道ハ邊ハ、和す、其の功あり。彼れ共の大夫、御を天

大道ハ邊ハ、和す、其の功あり。彼れ共の大夫、御を天

おこと、おのれ、中野、好みを連ひ、幸へざれば、可なり。

廿日、難、鳥

廿日、難、鳥、おこと、おのれ、中野、好みを連ひ、幸へざれば、可なり。

廿日、難、鳥、おこと、おのれ、中野、好みを連ひ、幸へざれば、可なり。

廿日、難、鳥、おこと、おのれ、中野、好みを連ひ、幸へざれば、可なり。

廿日、難、鳥、おこと、おのれ、中野、好みを連ひ、幸へざれば、可なり。

廿日、難、鳥、おこと、おのれ、中野、好みを連ひ、幸へざれば、可なり。

廿日、難、鳥、おこと、おのれ、中野、好みを連ひ、幸へざれば、可なり。

廿日、難、鳥、おこと、おのれ、中野、好みを連ひ、幸へざれば、可なり。

有、同、車

有、同、車、おこと、おのれ、中野、好みを連ひ、幸へざれば、可なり。

女あり、庄を伺ひし。木程のたりにし。将大翔けり、何主將  
御下環記し、かきし。魚、海に遊ばせし。是の

女あり、河を伺ひし。親、甚丹花の如し。将大翔けり、何主將  
かきし。魚、海に遊ばせし。是の

山有扶藪

山に扶藪の木あり、深に蓮のたあり。其間、子、却を見、此の極  
目と見る。  
山のた、蒼橋あり、深に、  
あり。男子、亮と見、此の極  
をみる。

薄分

薄分  
薄分、  
薄分、

我と誘、山は、此に、  
我と誘、山は、此に、  
我と誘、山は、此に、

誘、山は、此に、  
誘、山は、此に、  
誘、山は、此に、

縁々々々

縁々々々  
縁々々々、  
縁々々々、

1

縁々々々、  
縁々々々、  
縁々々々、

縁々々々、  
縁々々々、  
縁々々々、

縁々々々、  
縁々々々、  
縁々々々、



君の豊満なる貌上、我を羞に結せり。悔ひの極、あつては、  
 君の望むに依りて、悔ひの極、あつては、  
 錦を社に、くさくさ、  
 取やゆや、馬を車につか、  
 錦をかき、  
 城東の所、  
 はまを遠し。  
 舟車り、  
 此は、

東明之塚

層雨

凄々と風雨のすくすく、  
 君の音、  
 得々と、  
 風の、  
 既、  
 既、  
 既、  
 既、  
 既、



3. 此の... 蓮と... 放縱... 三月...

18 想之水

想之水... 他人の言... 他人の言... 他人の言...

19 出東門

出東門... 城の東門... 城の東門... 城の東門...

20 野有蔓草

野有蔓草... 野有蔓草... 野有蔓草... 野有蔓草...

2 湊浦

湊浦... 湊浦... 湊浦... 湊浦...



我を為すに候へ、  
御身もたへ、  
東方之日

東方之日あり、  
御身もたへ、  
東方之日

東方之日あり、  
御身もたへ、  
東方之日

東方之日あり、  
御身もたへ、  
東方之日

東方之日あり、  
御身もたへ、  
東方之日

東方之日あり、  
御身もたへ、  
東方之日

東方之日あり、  
御身もたへ、  
東方之日

東方之日あり、  
御身もたへ、  
東方之日

東方之日あり、  
御身もたへ、  
東方之日

東方之日あり、  
御身もたへ、  
東方之日

東方之日あり、  
御身もたへ、  
東方之日

東方之日あり、  
御身もたへ、  
東方之日

東方之日あり、  
御身もたへ、  
東方之日

東方之日あり、  
御身もたへ、  
東方之日

東方之日あり、  
御身もたへ、  
東方之日

東方之日あり、  
御身もたへ、  
東方之日

東方之日あり、  
御身もたへ、  
東方之日







雨形

美らに...  
波の...  
三六...  
公の...  
白泉

園存

園に...  
心...  
園に...  
知...  
子...  
早...

↑  
+

美らして...  
波の...  
上...

延

波の...  
いり...  
し...  
波の...  
か...  
再...







3  
2  
1  
2  
1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35  
36  
37  
38  
39  
40  
41  
42  
43  
44  
45  
46  
47  
48  
49  
50  
51  
52  
53  
54  
55  
56  
57  
58  
59  
60  
61  
62  
63  
64  
65  
66  
67  
68  
69  
70  
71  
72  
73  
74  
75  
76  
77  
78  
79  
80  
81  
82  
83  
84  
85  
86  
87  
88  
89  
90  
91  
92  
93  
94  
95  
96  
97  
98  
99  
100

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35  
36  
37  
38  
39  
40  
41  
42  
43  
44  
45  
46  
47  
48  
49  
50  
51  
52  
53  
54  
55  
56  
57  
58  
59  
60  
61  
62  
63  
64  
65  
66  
67  
68  
69  
70  
71  
72  
73  
74  
75  
76  
77  
78  
79  
80  
81  
82  
83  
84  
85  
86  
87  
88  
89  
90  
91  
92  
93  
94  
95  
96  
97  
98  
99  
100

右に  
物に出るは...  
...  
...

1  
...  
...

2  
...  
...

3  
...  
...

4  
...  
...

5  
...  
...

6  
...  
...

7  
...  
...

8  
...  
...

9  
...  
...

9

10  
...

11  
...

12  
...

13  
...

14  
...

15  
...

16  
...

17  
...

18  
...

19  
...

20  
...





9

武人の経歴をたずねる。武人に上る。都立野郎の世々。子孫野郎虎を以て  
能く其の跡をたゞし。武人、皆に武人の子孫に世々に、其の跡をたゞし。帯々其の  
跡をたゞし。其の跡をたゞし。武人、皆に武人の子孫に世々に、其の跡をたゞし。  
其の跡をたゞし。武人、皆に武人の子孫に世々に、其の跡をたゞし。

1

武人の経歴をたずねる。武人に上る。都立野郎の世々。子孫野郎虎を以て

2

武人の経歴をたずねる。武人に上る。都立野郎の世々。子孫野郎虎を以て

3

武人の経歴をたずねる。武人に上る。都立野郎の世々。子孫野郎虎を以て

4

武人の経歴をたずねる。武人に上る。都立野郎の世々。子孫野郎虎を以て

5

武人の経歴をたずねる。武人に上る。都立野郎の世々。子孫野郎虎を以て

9

1

武人の経歴をたずねる。武人に上る。都立野郎の世々。子孫野郎虎を以て

2

武人の経歴をたずねる。武人に上る。都立野郎の世々。子孫野郎虎を以て

3

武人の経歴をたずねる。武人に上る。都立野郎の世々。子孫野郎虎を以て

4

武人の経歴をたずねる。武人に上る。都立野郎の世々。子孫野郎虎を以て

5

武人の経歴をたずねる。武人に上る。都立野郎の世々。子孫野郎虎を以て

6

武人の経歴をたずねる。武人に上る。都立野郎の世々。子孫野郎虎を以て

西の山に名ある... 東の山に名ある... 東の山に名ある...

練一之

子の... 練一之... 練一之...

海山の... 練一之... 練一之...

の... 練一之... 練一之...

の... 練一之... 練一之...

東門之松

1) 城の東門の... 東門之松... 東門之松...

2) 西の山に... 東門之松... 東門之松...

3) 東の山に... 東門之松... 東門之松...

東の山に... 東門之松... 東門之松...

東門之松

1) 東門の下... 東門之松... 東門之松...

2) 東門の... 東門之松... 東門之松...

3) 東門の... 東門之松... 東門之松...

4) 東門の... 東門之松... 東門之松...

東門之松

東門の... 東門之松... 東門之松...

東門の... 東門之松... 東門之松...

東門の... 東門之松... 東門之松...

東門の... 東門之松... 東門之松...

東門の... 東門之松... 東門之松...





① 羊の毛を毛遣し、梳り出す。毛を毛遣し、梳り出す。毛を毛遣し、梳り出す。

② 羊の毛を毛遣し、梳り出す。毛を毛遣し、梳り出す。毛を毛遣し、梳り出す。

③ 羊の毛を毛遣し、梳り出す。毛を毛遣し、梳り出す。毛を毛遣し、梳り出す。

羊の毛

④ 羊の毛を毛遣し、梳り出す。毛を毛遣し、梳り出す。毛を毛遣し、梳り出す。

⑤ 羊の毛を毛遣し、梳り出す。毛を毛遣し、梳り出す。毛を毛遣し、梳り出す。

⑥ 羊の毛を毛遣し、梳り出す。毛を毛遣し、梳り出す。毛を毛遣し、梳り出す。

羊の毛

⑦ 羊の毛を毛遣し、梳り出す。毛を毛遣し、梳り出す。毛を毛遣し、梳り出す。

⑧ 羊の毛を毛遣し、梳り出す。毛を毛遣し、梳り出す。毛を毛遣し、梳り出す。

⑨ 羊の毛を毛遣し、梳り出す。毛を毛遣し、梳り出す。毛を毛遣し、梳り出す。

⑩ 羊の毛を毛遣し、梳り出す。毛を毛遣し、梳り出す。毛を毛遣し、梳り出す。

⑪ 羊の毛を毛遣し、梳り出す。毛を毛遣し、梳り出す。毛を毛遣し、梳り出す。

⑫ 羊の毛を毛遣し、梳り出す。毛を毛遣し、梳り出す。毛を毛遣し、梳り出す。

羊の毛

羊の毛を毛遣し、梳り出す。毛を毛遣し、梳り出す。毛を毛遣し、梳り出す。

羊の毛を毛遣し、梳り出す。毛を毛遣し、梳り出す。毛を毛遣し、梳り出す。

1  
 2  
 3  
 4  
 5  
 6  
 7  
 8  
 9  
 10  
 11  
 12  
 13  
 14  
 15  
 16  
 17  
 18  
 19  
 20  
 21  
 22  
 23  
 24  
 25  
 26  
 27  
 28  
 29  
 30  
 31  
 32  
 33  
 34  
 35  
 36  
 37  
 38  
 39  
 40  
 41  
 42  
 43  
 44  
 45  
 46  
 47  
 48  
 49  
 50  
 51  
 52  
 53  
 54  
 55  
 56  
 57  
 58  
 59  
 60  
 61  
 62  
 63  
 64  
 65  
 66  
 67  
 68  
 69  
 70  
 71  
 72  
 73  
 74  
 75  
 76  
 77  
 78  
 79  
 80  
 81  
 82  
 83  
 84  
 85  
 86  
 87  
 88  
 89  
 90  
 91  
 92  
 93  
 94  
 95  
 96  
 97  
 98  
 99  
 100

1  
 2  
 3  
 4  
 5  
 6  
 7  
 8  
 9  
 10  
 11  
 12  
 13  
 14  
 15  
 16  
 17  
 18  
 19  
 20  
 21  
 22  
 23  
 24  
 25  
 26  
 27  
 28  
 29  
 30  
 31  
 32  
 33  
 34  
 35  
 36  
 37  
 38  
 39  
 40  
 41  
 42  
 43  
 44  
 45  
 46  
 47  
 48  
 49  
 50  
 51  
 52  
 53  
 54  
 55  
 56  
 57  
 58  
 59  
 60  
 61  
 62  
 63  
 64  
 65  
 66  
 67  
 68  
 69  
 70  
 71  
 72  
 73  
 74  
 75  
 76  
 77  
 78  
 79  
 80  
 81  
 82  
 83  
 84  
 85  
 86  
 87  
 88  
 89  
 90  
 91  
 92  
 93  
 94  
 95  
 96  
 97  
 98  
 99  
 100

④ 七月二十七日、雨之天を告げ、四方の國主あり、  
 諸侯の國を治め、功を告げられた。 曹國の事

10

七月

① 七月二十八日、雨の天を告げ、四方の國主あり、  
 諸侯の國を治め、功を告げられた。 曹國の事  
 ② 七月、汝水あり、九月、汝水あり、  
 十月、汝水あり、十一月、汝水あり、  
 十二月、汝水あり、  
 ③ 七月、汝水あり、八月、汝水あり、  
 九月、汝水あり、十月、汝水あり、  
 十一月、汝水あり、十二月、汝水あり、

⑤ 七月、汝水あり、八月、汝水あり、  
 九月、汝水あり、十月、汝水あり、  
 十一月、汝水あり、十二月、汝水あり、  
 ⑥ 七月、汝水あり、八月、汝水あり、  
 九月、汝水あり、十月、汝水あり、  
 十一月、汝水あり、十二月、汝水あり、

⑦ 七月、汝水あり、八月、汝水あり、  
 九月、汝水あり、十月、汝水あり、  
 十一月、汝水あり、十二月、汝水あり、  
 ⑧ 七月、汝水あり、八月、汝水あり、  
 九月、汝水あり、十月、汝水あり、  
 十一月、汝水あり、十二月、汝水あり、

月... 煙...

○... 煙...

○... 煙...

○... 煙...

○... 煙...

風

15

情... 煙...

○... 煙...

○... 煙...

○... 煙...

○... 煙...

○... 煙...

②

既、東の兵、始々も、  
向うの兵、  
在り、  
此の兵、

③

元、東の兵、  
既、東の兵、  
既、東の兵、  
既、東の兵、

④

既、東の兵、  
既、東の兵、  
既、東の兵、  
既、東の兵、

①

既、東の兵、  
既、東の兵、  
既、東の兵、  
既、東の兵、

②

既、東の兵、  
既、東の兵、  
既、東の兵、  
既、東の兵、

③

既、東の兵、  
既、東の兵、  
既、東の兵、  
既、東の兵、

④

既、東の兵、  
既、東の兵、  
既、東の兵、  
既、東の兵、

